

友愛こうら

第82号 発行：甲良町老人クラブ連合会

水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

ご挨拶

クラブ活動へのご参加が一人でも

多くなることを願って

甲良町老人クラブ連合会 会長 上野 善久

平成二九年度末にあたり、町老ク連本部役員を代表しまして、お礼のご挨拶を申し上げます

さて、みだしのことは、大変平易な言葉ではありますが、平成二九年度当初の理事会でお話したことでもあります。そして、いろいろな行事で、各単位クラブから昨年を一名上まわる参加者を期待して取り組み、活性化を願ってまいりました。その間、理事様・女性委員様の深いご理解と格段のご尽力により一年間の行事を予定通り進めていただき、そして、各行事ともにほんのわずかでありますが参加者数の伸びをみる事ができました。いくつかの課題は残るもののいつかの成果をつくりあげて終わらせていただくことができますことに、深く感謝申し上げます。町老人クラブ大会では期待していた人数の約90パーセントでしたが、これだけの率であれば大成功だと考えたいという理事様のご意見もあり、参加の意識化までもにも触れていただくことも

できました。

このような目に見えるもので成果を示していくことはできても、会員様一人一人の参画意識に支えられたものでなければ、本当の成果とはなり得ないと思います。先のご意見を大変うれしく受け止めさせていただきました。

このような主体的な参加をしていた、たくさんためには、行事それぞれについて、より多くの方が喜んでくださるような内容と活動方法を考え、そして、運営していかねければなりません。

本年度も理事会の部会組織や女性委員の生活文化クラブでのお世話などを具体的な活動として、取り組んできました。しかし、そのようにすればするほど、その役職の方の負担が大きくなり、大変苦慮しました。理事や女性委員は連合会の役職でありながら、各単位クラブの会長や女性部長をしていたたく方で、単位クラブの運営、活性化という重要な用務をになつていてくださいます。単位クラブと連合会との連携・融合を

図ることを考えてきたのも、こうしたことの課題に応えたいと考えたからであります。

しかし、各事業ごとに残していただいているアンケートや記録の中には、「大会などの準備等の仕事などをもっと理事に分担するとよい」「理事と本部役員との連携がとれていて、仕事がしやすいかった」というありがたい内容を残してくださっています。

そして、クラブ組織に言及する内容や単位クラブの組織強化と関わる建設的なご意見も出していただいています。こうした課題については、さらに考え取り組んでいきたいと思っています。

また、本年度は、介護保険の改定から端を発して、高齢者への介護予防や生活支援の担い手として地域支援事業の取り組みをしていくように呼びかけられました。

私たち高齢者、特に小さな町・集落の高齢者は、近隣が互いに知り合いであり、日常的に支え合って暮らしてきています。しかし、生活様式の変化もあり、また、お金をかせげば何でもかなう世の中になってきて、高齢者の温かい人間関係にまで寂しさを覚えるようになってきています。

高齢者のもつ良さをふまえ、友愛の精神に支えられた相互支援が互いの生活支援となっていくように、その基盤づくりを考え、暮らしの実態を把握していただくことをしてきました。この取り組みの具体的展開はこれからですが、高齢者自身の生き方・生きがいや社会参加に関わることをして取り組みを考えていきたいと思っています。

活動の充実や発展については、皆様のおかげでずいぶんと具体化していったいただきました。これからはその基盤にしなければならぬことをみつめ、皆さんとより深く考え、取り組みんでいきたいと思っています。

草津白根山の想定外の爆発、シベリアのマイナス67℃という大寒波の影響で平成が始まって以来の極寒、豪雪が報じられている一月末に原稿を書いています。二月に入れば冬季オリピックの開催、そしてほんのりした春の訪れも、この寒さを克服してこそ、実感できます。

あらためて会員の皆様に一年間のお礼を申し上げ、おひとりおひとりがますます健康で自分自身を発揮して活躍くださることを願い、まことに粗辞ですが、お礼のご挨拶とさせていただきます。

平成29年度行事の成果と課題をふりかえり、次年度を展望する

はじめに

甲良町老ク連は、活動方針に基づき数々の事業を、理事会で構成する五つの部会組織を中心に行ってきた。その成果と課題について振り返り、次年度への展望を含めて、各部長さんに執筆していただきました。

部会組織は次の通りです。《敬称略》

(一) 総務《企画》部会

会長・副会長

創造推進員

(二) 保健体育部会

鋒山 國夫・阪東登喜雄
阪東猶真・小林喜代三
松宮正次・川口文隆
若林秀雄・山田金次郎

(三) 文化・研修部会

谷口信明・松原良紀
藤 真照・松宮祥介
森田正道・野瀬敏雄
鋒山 甚蔵・中西祐男

(四) 広報部会

枝村勝太・西山 実
上田博司・辻川義延

(五) 女性部会

圓城美沙子・松宮光子

総務《企画》部会

副会長 田中 重弘

○老人クラブ連合会事業推進の企画・原案作成、理事会への提案。

一つ一つの事業について活動方針に合わせてはよい時期からねらいを明確にし、老人クラブの特性を考え、企画していきます。しかしまだまだ配慮しなければならぬことや手落ちもあり、皆様にはご迷惑をおかけしたことがあり、反省しています。

○県・ブロック・町事業との調整

県老ク連や彦根・愛犬ブロック老ク連や老壮大学をはじめとする町関係事業との調整や連携を図ってきました。

○親睦旅行や先進地交流研修会等の企画・準備・推進

歴史あるこれらの行事の目的地や研修先について理事会に諮り、詳細に準備を整え、実施していきます。常に、『ゆつくり ゆつたり 和やかに』そして、自分できちんと体験する研修を motto に、ちよつと一味違う旅・研修をしていく構想を

します。

○会員の増強や活動の活性化への取り組み

町内すべての字の老人クラブで組織して続けられてきた連合会、全員加入を原則にその維持・促進に努めていた。ただために単位クラブと連合会とのよりよい連携や融合を理事会を重視して積極的に考えてきました。

保健体育部会

部長 鋒山 國夫

○高齢者の健康づくりは、老人クラブにとつて最も重要な課題であります。

そのため、グラウンドゴルフ大会を年二回《春季大会(五月一九日) 秋季大会(十月三二日)》開催しました。参加者二〇〇名をめざしましたが、あと一息でした。また、運動に親しむ人を増やしていくことから、初参加賞をささやかですが設けました。そして優勝争いも高スコアの激戦となり、入賞を五位までとして表彰させていただきました。老人クラブの大会としてルールやマナーも考え、和やかな大会となりました。会場準備や進行、抽選等

も、本部会が当たりました。

○また、二ユーススポーツ大会(テニスコントと公式フナグ)を字別対抗団体戦で、六月(四日(土))中学校体育館で行いました。

これらの種目はずいぶん前からやっているスポーツですが、競技方法や運営について体育部を中心に試行しながら進めました。できるだけ多くのゲームができるように予選リーグ戦、決勝トーナメントを行う計画で進めました。チームゲームのよさを生かして和やかに歓談しながら楽しんでいただきました。審判や記録も字で担当して行いました。

そろそろ来年度から新しい二ユーススポーツに挑戦もしていききたいと思えます。

○老壮大学『シルバースポーツ大会』は町教育委員会との共催事業ですが、残念ながら、今年も中止となりました。

○男性料理教室を二月二日(金)に県健康づくり推進員高野先生の指導で開催しました。

お金を出せば何でも買え、料理などしなくても暮らしていけます。しかし、自分の

健康を考え、また、食事をつくる苦勞をほんの少しでも理解し、さらに、一品くらいは自分でもつくれるようになりたいと考え、開催しました。

○高齢者の安全な暮らしのために、彦根警察署管内高齢者交通安全自転車大会が、九月二八日多賀町B&G体育館で開催されました。

在土下之郷呉竹、そして体育部から合計四チームが出場しました。優秀な成績を収めていただき、県大会も出場してくださいました。高齢者の交通安全・事故防止をめざす大会趣旨を考え、今後より多くの字からの参加を期待しています。



文化・研修部会

部長 谷口 信明

○甲良町老人クラブ大会の司会進行や記録のまとめなどを担当しました。

十月七日(土)に開催された本大会は老く連の大事業で、理事全員ではやい時期から協議を重ねて取り組みました。大会は、一部式典、二部講話、三部アトラクションで、温かさあふれる大会となりました。特に、本年度は第三部のアトラクションで、安来節保存会の皆さんの迫力ある唄・



鼓 踊り、銭太鼓等々のバラエティーショー、飛び入りで本場のどじょうすくい体験もあり、大変盛り上がりしました。『楽しいひとときが過ぎた』『感動した』『元気を

もらった』などの声もいただきました。

本大会への参加者を各単位クラブ会員の一五%以上になるよう期待しましたが、少し及ばず残念でした。次年度はより多くの参加者をめざして会員相互による『参加への声かけ』を、今まで以上にお願いしたいと思っています。

○理事会を中心に、老く連役員・リーダーとして、また自分自身の豊かさや高まりを求めて、研修活動や大会に参加し、記録のまとめ等を担当してきました。

理事先進地交流研修会は、酷暑の七月二十七日(木)～二十八日(金)に行われました。

『老人クラブの活性化(積極的な事業への参加と今日的課題』を課題に、香川県丸亀市川西町長寿会・市老連と行いました。その中で、地域ぐるみの川西町地区自主防災活動に長寿会が緊密なつながりを持つて活動しておられる場を見て、私たちの防災に対する意識が高まりました。また、次世代を担う子どもとの交流活動を学校と連携して年間を通じて開催、重視しておられることにも驚かされました。互いの活

動紹介はおおむねできましたが、意見交流などが十分でできなかったのが残念です。

交流会の持ち方や内容の焦点化について今後考えていかなければならないと思います。また、女性の参加についても注目され、リーダー研修として来年度から女性委員も参加する役員研修にしたいかどうかという意見も出されました。研修成果をだいに、さらに皆さんで知恵を出し合って考えていきたいと思っています。

○人権問題研修会・学習会を二月一日(金)、理事会で行いました。

高齢者の大きな課題である『高齢者の安全・安心な暮らしを考える』をテーマに、甲良駐在所長伊藤晴健様から交通事故や振り込み詐欺・命と人権について学びました。

○愛犬老人クラブ大会が、一月二十四日(金)愛知川公民館で開催され、理事、女性委員全員が参加しました。詳しくは、本誌第四面を参照ください。

○滋賀県老人クラブ大会は一月十六日(木)県立文化交流会館で開催され、理事全員が参加しました。詳しくは、本誌第四面を参照ください。

○滋賀県高齢者相互支援活動

研修会・女性研究集会が、二月二十八日(水)県長寿社会センターで開催され、研修部と女性部・女性委員が参加しました。本町中西副会長が事例発表を行い、注目されました。

広報部会

部長 枝村 勝太

○『友愛こうら』の発行は年間五回(七七、八一号)で大変ですが、毎回A3版裏表を基本に老く連活動等の取り組みや記録をできるだけ早くにお知らせしていき、老く連を身近なものとしてとらえていただけるように、発行しています。

親睦旅行、研修、クラブ大会等の記録や写真撮影を行っています。意図する写真をうまく撮るのはむずかしい、今後は活動内容にあわせて焦点化して取り組みたいと思います。会員様全員への配布と、県老連をはじめ関係機関に配布し、皆さんのご指導を仰ぎたいと考えています。

女性部会

部長 圓城美沙子

○女性委員と連携して町老く

連役員としての老人クラブ大会のフィナーレにはまつまって参加しました。

○男性の料理教室のお手伝いや女性研修会への参加を積極的に進めてきました。

○生活文化クラブの発展的な取り組み・お世話をしました。

女性部員・女性委員全員がこのクラブの会員となることとして、多くの会員様のご賛同を得るようにお世話をして会員増と内容の充実に取り組んできました。

本年度は、大変人数も増え、うれしい悲鳴をあげながら活動をさせていただきました。また、特別企画も取り入れ、今後も年間五回の充実した活動を、みんなで創り出して楽しんでいきたいと考えています。

おわりに

一年が過ぎ、多くの会員様と親睦も図られ老く連への所属感も深まってきたところで、理事・女性委員様が交代で、部会組織もかわり大変淋しい思いでいつばいす。しかしこの役員経験者が年々増えていくというところで、そのお力を期待しています。ご苦労さまでした。

秋・初冬の行事への参加記録です

滋賀県

老人クラブ大会

十一月十六日(木) 米原県文化産業交流会館で行われ、本町からは、理事長と本部役員が参加しました。

大会は式典と講話、記念講演が内容となり、以前より縮小されています。しかも、参加者も激減していて、とつてもさびしい感じを受けました。講話や講演については詳しく説明させていただきませんが、高齢者の今日的課題である交通安全や詐欺予防の内容と、笑いと健康について大道芸を交えながらのお話で、記念講演の内容も現代風になったのかなあと感じました。式典で、本町関係では次の方々

が県老人クラブ会長賞を受賞されました。

☆優良老人クラブ賞

長寺東和楽会様会長中西祐男

☆育成功労者賞

故 山本日出男様(呉竹)

ことのほか寒かった一日でした。ご参加いただきありがとうございました。大会や研修会等々、行ってよかったな

あと感じられるものであるよう、私たちも考えたいと思いました。

愛知・犬上老人クラブ大会

この大会は、両郡四老ク連

(秦荘 愛知川 豊郷 甲良)でつくる老人クラブ連絡協議会が主催し、開催しているものです。残念なことに多賀町は連合会には加入しておられず、同じブロックとしてさみしさを感じています。

本年度は、十一月二十四日(金)愛知川公民館で開催されました。甲良町老ク連はこの大会の事務局を預かっている関係で本部役員と一緒に準備をしました。管内どの町にも立派なホールがあり、その職員様も加わって作業をし、大変うらやましく思いました。

この大会は、老人クラブの指導的立場にある方々の研修と女性のリーダーになっていただく方々の研究集会を統合して開催されます。本町では、毎年、老ク連役員の理事と女性委員長全員にご参加いただいています。町や県と同じよう

な内容で開催されますが、事例発表は豊郷町から、そして、記念講演では、昭和時代の愛知・犬上の発展ぶりを映像や歌を交えてお話ししていただきました。紙面の都合で内容は省略します。

その式典では、次の方々が愛知犬上老人クラブ連絡協議会長賞を受賞されました。

☆育成功労者賞

辻 トミエ様(下之郷)

☆優良老人クラブ賞

長寺東和楽会様会長中西祐男

☆介護篤行者賞

嶋路 正子様(下之郷)

小林 元子様(子) 来年度は、甲良町での開催となります。当該年度の役員様での準備や前年度理事様等々に参加依頼をさせていた

生活文化クラブ活動 特別企画

生活習慣病予防

減塩料理でバランスのとれた食事を考える会



『元気で長生き』をめざす『9月から2月の間にもう一つ何かやりたい。やってほしい』

そんな思いをしている中に、町健康推進員さんから『高齢者の減塩料理推進計画』を、老ク連に提案してくださいました。

健康寿命を延ばす食事については関心も深まり、いろいろな取り組みはなされています。そして、甲良町の実態から

も今、65歳からの食生活での減塩が強く言われています。

そこで、生活文化クラブの特別企画として、行うこととしました。希望者が多くいてくださったことから一二月七・八日の二日に分けて開催していただきました。両日にわたり町健康推進さん、保健師さんから専門的なお話をわかりやすく説明していただき、実際に調理、試食、そして我が家のみそ汁の塩分量を計るなどの活動を熱心に行っていた

いただき、減塩の大事さを再認識しました。甲良町は男女ともに平均寿命と健康寿命の差を縮めること、それは、老人クラブの緊急の課題でもあります。こうしたことを生活文化クラブの事業としてこれからも続けていきたいというご意見もいただき、関係機関へもお願いをして、終わりました。

編集後記

『こんなに厳しい寒さと雪が続けば、心配』

と、今まで災害のない私たちの町に感謝しながら安心していましたが、今度ばかりは、独居高齢者や高齢者世帯の方が心配になってきました。それだけに、近隣のよさや高齢者相互の温かい人間関係を活かした友愛活動を基盤にした相互支援や生活支援の日常化を進めなければならぬと強く感じています。

しかし、この広報がお手元に届く頃は、雪の睦月・如月を無事に超え、春一番を待つ弥生半ばだと思えます。そして、桜花欄満の卯月を迎え平成の最終年度三十年度へと向います。

今年度は、老人クラブ連合会ではいろいろな事で手薄になり、皆様にご迷惑をおかけいたしました。が、無事に終わらせていただくことができました。心より感謝申し上げます。明年度も、会員様おひとりおひとりが主人公となって創り上げてくださる老人クラブにしていくため、なお一層お力をお寄せくださることをお願いして、本年度最終号の編集を終わらせていただきます。ありがとうございました。